

# 『ワニと龍』、鱷は動物園を代表する動物だった！



市政資料館所蔵

「名古屋市鶴舞公園附属動物園開園記念絵葉書」の袋



創立の功勞者今泉七五郎氏と  
氏の養育せる鱷

『名古屋市立鶴舞公園附属動物園要覧 昭和8年』より

平成三〇年九月某日

改めて龍について考えてみる。『ワニと龍』とい

う本<sup>注</sup>がある。同書によると、『史記』の「夏本紀」

には龍を飼育したり食べたりする話が書かれてい

るそうだ。少なくとも古代中国では、龍が実在し

たことになる。龍の字はもともとマチカネワニの

ことを指していたが、後に鱷の字で表されるよう

になり、一方で、龍の字は神獣化した空想の動物

を表すようになったらしい。なぜ用字が変化した

のか？ 原因は寒冷化によりマチカネワニが中国

から姿を消したからだとする名推理は、仕事を忘

れるおもしろさだった。そういえば動物園要覧の

数少ない写真にも、絵葉書の袋にも鱷がいる！

鱷が園を代表する動物だったのは間違いない。

注2=『ワニと龍』青木良輔/著 平凡社 2001年